

2015年に登録された「世界文化遺産」をはじめ、**今、見ておきたい産業遺産がここに!**

**333**  
特別編集

# 北九州市

KITAKYUSHU CITY

時代を変えた“黒いダイヤ”  
「石炭」物語

近代化の象徴“鉄”の生産  
「製鉄」物語

## 3つのストーリーで巡る 世界遺産と産業遺産

流通網も発展  
「海運」物語

今も受け継がれる伝統の味と技  
番外編  
「食」物語

写真提供:新日鐵住金(株)八幡製鐵所  
一般には非公開の施設です

# 北九州の世界文化遺産



2015年7月、「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」として北九州から官営八幡製鐵所関連施設が世界文化遺産に登録された。

## 官営八幡製鐵所

写真提供:新日鐵住金(株)八幡製鐵所  
一般には非公開の施設です



非公開

### 官営八幡製鐵所 修繕工場

明治33年(1900)建設。製鐵所で使用する機械の修繕、部材の制作・加工、組み立てを行う施設で、現在も使われている。鉄骨建築物では国内最古級。



非公開

### 官営八幡製鐵所 旧鍛冶工場

明治33年(1900)建設。製鐵所の建設に必要な鍛造品が製造された工場。大正時代中頃からは、製品の試験所として使われた。



非公開

### 官営八幡製鐵所

#### 遠賀川水源ポンプ室(中間市)

製鐵所の拡張に伴い、工業用水の取水・送水施設として遠賀川沿いに建設。現在も鉄鋼生産に必要な水の7割をここから送水している(→P4)。



限定公開

### 官営八幡製鐵所 旧本事務所

製鐵所が創業する2年前に建設。長官室、顧問技師室、技監室、主計室などがある中枢施設。日本と西洋の建築様式が融合。内部の見学は不可だが、眺望スペースから外観をのぞめる(→P6)。

## 自分のペースでストーリー観光を楽しめるアプリ登場!

本誌で紹介している3つのコースのおすすめ立ち寄りスポットや、アプリ限定のおすすめ立ち寄りスポットを、自動で詳しく音声案内してくれるアプリが登場!スマートフォンやタブレットにインストールして散策を120%楽しもう!詳しくは右のQRコードから「北九州産業観光ホームページ」にアクセスして、音声ガイドアプリの情報をチェックしてください。



北九州 産業観光

検索

※音声ガイドをご利用になる場合、富士ゼロックス製「Sky Desk Media Trek」無償アプリがインストールされます。



Sky Desk Media Trek

### ●北九州の観光のすべてがわかる!

北州市観光WEBサイト

ぐるリッチ!北Q州

検索

### ●北九州の産業観光の情報はコチラ

北九州 産業観光

検索



### 市原 猛志

九州大学・百年史編集室助教  
1979年福岡県北州市生まれ。近代建築を中心とした近代化遺産・産業遺産の研究活動で知られる。現在は九州大学百年史編集室助教、九州国際大学非常勤講師、北州市門司麦酒煉瓦館の館長(非常勤)を務める。著書『産業遺産を歩こう』(共著・東洋経済新報社)、『北九州の近代化遺産』、『筑後の近代化遺産』(共著・玄書房)など。

れて体感してみてください。

「明治日本の産業革命遺産」がユネスコ世界文化遺産に登録されました。ここ北九州では、明治時代から続く各種産業技術が、建物や、今もなお現役の施設として輝き続けています。そんな「奇跡の物語」をどうぞ皆さんも現地を訪れて体感してみてください。

2015年、官営八幡製鐵所を含む「明治日本の産業革命遺産」がユネスコ世界文化遺産に登録されました。ここ北九州では、明治時代から続く各種産業技術が、建物や、今もなお現役の施設として輝き続けています。そんな「奇跡の物語」をどうぞ皆さんも現地を訪れて体感してみてください。

を育んだ美しい自然が広がります。

このつながりは現在環境産業へも広がりを見せています。新幹線駅のある小倉から、そして周防灘沖の北九州空港から車で1時間以内の身近な場所に、産業とそれにつながる物語や食、それらを育んだ美しい自然が広がります。

# 北九州産業遺産ストーリー

日本の近代化を支えた先人たちの情熱を感じる

明治維新以降、急ピッチで近代化が進んだ日本。激動の歴史の中で、北九州と周辺地域は筑豊炭田を背後に控えた「石炭」、官営八幡製鐵所による「製鉄」、国際貿易港として栄えた「海運」の3つの分野で、日本の産業界をリードし続けている。北九州市の歴史を「石炭」「製鉄」「海運」の3つの物語でたどると日本の近代化や高度経済成長を支えた先人たちの情熱が伝わってくる。



## 教えて先生!

明治の産業が生んだ北九州奇跡の物語へ出かけよう!

北九州の産業が成長した理由は、近代というわずかな期間に大規模な港を造り、鉄道や水運で九州各地の物資を集めることができた地の利、そしてその利便性を生かし、多くの技術を生み出した人々のたゆまぬ努力があります。産業のコメとも称される石炭が、筑豊から遠賀川や堀川を介して門司・若松の両港へ運ばれ、ここから全国の産業を振興させました。八幡では、鉄道レールに使用できるような高品質の鋼鉄を作るため製鐵所が焔を上げ、製鐵所を支える企業や鉄製品を利用した企業など関連産業が洞海湾を中心に数多く成長しました。また、関門海峡を挟んだ門司・下関では、食品産業から化学製品まで幅広い企業が生まれ、このつながりは現在環境産業へも広がりを

## Story 2

# 「製鉄」物語

P6～7 [1890年代～]

日本の産業革命に不可欠だった鋼鉄。しかし、当時は鋼材の大半を輸入に頼っていたため、明治政府は一大国家プロジェクトとして製鉄所の建設に取り組んだ。製鉄先進国であったドイツの指導のもと、明治34年(1901)、ついに官営八幡製鐵所が誕生。明治から今に至るまで、日本の経済発展を支えている。

### この人に注目!



写真提供:  
日本鉄鋼協会

### 製鉄所安定操業の立役者 野呂景義

明治34年(1901)に操業開始した官営八幡製鐵所だが、その船出は厳しい状況となり、翌年には休止。そのピンチを救ったのが野呂景義だ。彼は釜石製鐵所の経験に学び製鉄技術を向上、鋼材生産高を著しく急増させた。

### この人に注目!



写真提供:  
出光興産

### 「出光興産」は門司港から 出光佐三

明治44年(1911)門司港にて石油販売業の「出光商会」を創業。国際石油資本に対抗できる石油会社を築き上げた。出光氏は下関で漁船燃料油の販売に成功し、その基盤を築いた。

➡夜はライトアップされ、ロマンチックな雰囲気。旧門司税関(→P8)



➡明治34年(1901)2月5日、官営八幡製鐵所最初の火入れが行われた東田第一高炉跡(→P7)  
※展示されているのは第10次改修高炉



➡北九州市の産業技術や技術革新の歴史などを学べる北九州イノベーションギャラリー(→P7)



# 歴史を知ると見える景色が違ってくる! 3 産業遺産を巡る つのストーリー

## Story 1

# 「石炭」物語

P4～5 [1760年代～]

江戸時代から製塩用の燃料などとして使われてきた筑豊の石炭。明治になると、石炭は近代化のエネルギー資源として開発が進み、筑豊炭田は国内最大級の規模を誇っていた。八幡製鐵所が建設されることになったのも、燃料となる石炭を安定供給できる筑豊の存在が大きかった。



➡炭鉱王の栄華が感じられる旧伊藤伝右衛門邸(→P4)

©Yamamoto Family  
「田川市石炭・歴史博物館」所蔵



➡約50年間の炭坑生活を送り、炭坑労働者でなければ描くことのできない緻密な記録画を遺した山本作兵衛の作品(世界記憶遺産)

### この人に注目!

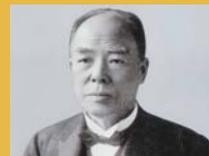


写真提供:  
大同生命保険

### 筑豊の炭鉱発展に貢献

### 広岡浅子

朝ドラのヒロインのモデルとなった明治・大正時代の実業家。いち早く炭鉱事業に進出し、筑豊の炭鉱発展に貢献。また、銀行の設立や大同生命の創業に参画、現「日本女子大学」を創立に導いた。



写真提供:  
安川電機

### 北九州の発展に多大な貢献

### 安川敬一郎

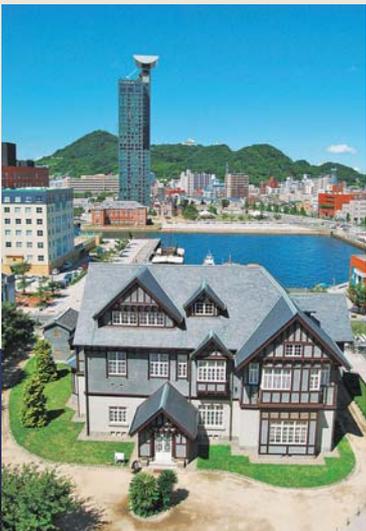
麻生、貝島と並ぶ筑豊御三家の一人。安川電機製作所(現:安川電機)の創立発起人。若松港の整備に尽力するとともに、子の松本健次郎と明治専門学校(現:九州工業大)を開校するなど人材育成にも貢献。中国の革命家・孫文の支援者としても知られる。

## Story 3

# 「海運」物語

P8～9 [1899年～]

明治22年(1889)に国の特別輸出港に指定された門司港をはじめ、石炭の積み出し港となった若松港など、北九州は九州の門戸として、さまざまな文化や情報、人、物が行き交う地となった。今も両地には当時の面影を伝える建造物などが残り、華やかな時代を今に伝えている。



➡門司港レトロ地区には歴史的建造物が数多く残っている

世界  
記憶遺産  
所蔵

炭坑の歴史や  
生活文化を伝える



石炭について  
学ぶなら  
まずはここから  
ですよ

④石炭記念公園に隣接している

### 1 田川市石炭・歴史博物館

●たがわしせきたん・れきしほくづつかん

☎0947-44-5745 (MAP)P12C3

石炭の歴史や炭坑で働く人々の様子をパネルやジオラマなどでわかりやすく伝える。屋外には輸送に使われたSLや採掘に使われた大型機械などを展示。2011年5月に世界記憶遺産に登録された「山本作兵衛コレクション」は必見!

⑤田川市伊田2734-1 ⑥JR田川伊田駅から徒歩8分 ⑦入館210円 ⑧9時30分～17時30分(入館は～17時) ⑨月曜(祝日の場合は翌日、火曜以降も休日が続く場合は連休終了日の翌日) ⑩20台



山本作兵衛翁 (撮影：橋本正勝氏)



教えて市原先生!



①事前に予約しておけばガイドの説明を受けられる

栄華を伝える  
炭鉱王の邸宅



①明治期に建てられ、大正～昭和初期に増築された

②飯塚市幸袋300 ③JR筑豊本線新飯塚駅から車で10分 ④入館300円 ⑤9時30分～17時(入館は～16時30分) ⑥水曜(祝日の場合は開館) ⑦幸袋リサーチパーク内と合わせて150台

### コースチャート



⑧羽目板の壁が上品かつ  
重厚な「応接室」

### 4 遠賀堀川

●おんがほりかわ

☎093-642-1441 (八幡西区役所総務企画課) (MAP)P12B2

遠賀川と洞海湾を結ぶ全長12kmの川。筑豊からの石炭輸送の動脈となり、石炭を積んだ川ひらた舟が、出荷港である若松を目指して多く行き来した。その歴史などを描いたパネルがJR折尾駅西口横に展示してある。

電車で  
約8分

### 3 官営八幡製鐵所 遠賀川水源地ポンプ室

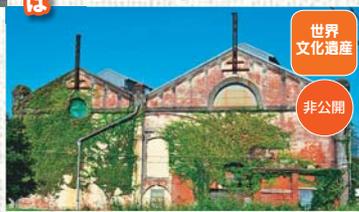
●かんえいやはたせいてつしょ おんががわすいげんちほんぶしつ

☎093-245-4665 (中間市世界遺産推進室) (MAP)P12B2

明治39年(1906)、官営八幡製鐵所の生産を倍増するための拡張工事に伴い、さらなる水が必要とされたことで造られた。明治43年(1910)に完成。操業当時の動力は石炭であった。現在も製鐵所が必要とする約7割の水を送り続けている。

③中間市下土手ノ内1 ④JR筑前垣生駅から徒歩20分 ⑤なし

今も現役!  
製鐵所を支える水は  
ここから



世界  
文化遺産

非公開

三角屋根と丸窓・半円の窓がオシャレな古い教会のような雰囲気。写真提供:中間市一般には非公開の施設です

電車と徒歩  
約33分

電車と車で  
約35分

### 2 旧伊藤伝右衛門邸

●きゅういとうでんえもんてい

☎0948-22-9700 (MAP)P12B3

筑豊の炭鉱王・伊藤伝右衛門の本邸。4つの居住棟、3つの土蔵、広大な回遊式庭園をもち、細部まで贅を尽くした絢爛豪華な造りを見学できる。妻であった歌人・柳原白蓮のために用意された部屋も残る。



石炭を若松まで  
運んだ川

### 折尾駅の駅弁立ち売り



折尾駅といえば、駅弁の立ち売りが有名。大正10年(1921)から販売され「うまい駅弁九州No.1」に輝いた「かしまめし」(小670円・大770円)が大人気!4・5番ホームにて立ち売り販売。

☎093-601-2345 (東筑軒) ⑧8～13時、14～16時 ⑨水曜ほか不定休あり (MAP)P12B2



### 中間市地域交流センター

●なかしちいきこうりゅうせんたー

☎093-245-4665 (MAP)P12B2

ポンプ室の操業当時や建物内部の様子を紹介する展示コーナーがある。みやげも購入できる。ポンプ室までは徒歩20分。

④中間市垣生660-1 ⑤JR筑前垣生駅から徒歩5分 ⑥9～18時 ⑦火曜(祝日の場合は翌日) ⑧200台

### 北九州 産業遺産

### ストーリー 1

# 石炭物語

## 黒いダイヤは 日本近代化の原動力に!

産業革命の動力となった「石炭」。特に飯塚・田川・直方市を中心とした筑豊エリアは全国有数の産出量を誇った。その出荷港となった若松南海岸エリアは当時、料亭の数が100を越えるほどの繁華街として栄え、今もその面影を残している。



①2階にある多目的ホールの窓からは洞海湾をのぞめる



①ルネサンス様式美しい外観。奥に見えるのは若戸大橋

# 8

## わかちく史料館

●わかちくしりょうかん

☎093-752-1707 MAP P5

石炭積出港として栄えた洞海湾、その開発・運営を手がけた若松築港会社(現・若築建設)による史料館。広岡浅子の夫、信五郎の名前が記された資料もある。社史のほか、若松や洞海湾の歴史などをパネルや映像などで紹介している。

①北九州市若松区浜町1-4-7 ②JR若松駅から徒歩15分 ③見学無料 ④10～16時 ⑤月曜、祝日 ⑥8台(無料)



①昔の若松の写真なども展示



①1世紀にわたり、洞海湾とともに生きてきた建設会社



# 6

## 北九州市 旧古河鉱業若松ビル

●きたきゅうしゅうし きゅうふるかわこうぎょうわかまつびる

☎093-752-3387 MAP P5

炭鉱会社であった古河鉱業の事務所。2階建て煉瓦造りの優雅なたたずまいは、現在若松に残る近代建築の中でも最も華やか。館内には多目的ホールなどがあり、自由に見学できる。

①北九州市若松区本町11-11-18 ②JR若松駅から徒歩5分 ③見学無料 ④9～17時 ⑤火曜 ⑥10台

# 5

## 安川電機ロボット村

●やすかわでんきろぼとむら

☎093-645-7705 (安川電機みらい館) MAP P12C2

最先端のロボット技術で知られる安川電機は、大正期に安川敬一郎の子第五郎が創業。当時は採炭に使われた機械のモーターを製造していた。ロボット村には、見学可能な「ロボット工場」のほか、ものづくりの楽しさや最新のロボット技術などが学べる「安川電機みらい館」などがある。平成28年4月には「安川電機歴史館」も開館。

①安川電機みらい館は10名以上の団体のみ見学可



②2階は人とロボットの共存を考える参加体験型の空間

**安川電機みらい館**  
①北九州市八幡西区黒崎城石2-1 ②JR黒崎駅から徒歩5分 ③入館無料 ④9時30分～16時40分(見学は予約制) ⑤土・日曜、祝日 ⑥3台(大型バス用・普通車の場合要相談)

# 7

## 石炭会館

●せきたんかいかん

☎093-761-5321 (若松区役所総務企画課) MAP P5

安川敬一郎が組長を務めた若松石炭商同業組合の事務所として明治末期に竣工。現存する若松南海岸の洋風建築群では最古のもので、中に入ると随所に美しい装飾が見られる。1階には人気のクロワッサン専門店「三日月屋」がある。見学は1階入口付近のみ。

①北九州市若松区本町1-13-15 ②JR若松駅から徒歩5分 ③見学無料 ④なし



①石炭関係者の社交場、迎賓館としても使われた

### 三日月屋

外はパリッ、中はしっとりとしたクロワッサン1個185円～はプレーン、メープル、チョコ、あずきなど多彩でみやげに人気。

☎093-771-7979 ①9時30分～19時 ②月曜(祝日の場合は営業)



## 上野ビル(上野海運ビル)

●うえのびる (うえのかいうんびる)

☎093-761-4321 MAP P5

**歴史と“今”が融合した注目ビル**  
大正2年(1913)、旧三菱合資会社若松支店として建設。重厚な煉瓦造りで、中は吹き抜けの構造でステンドグラスが配され華やか。現在はカフェや雑貨店も入る。国登録文化財。

①北九州市若松区本町1-10-17 ②JR若松駅から徒歩12分 ③店舗により異なる ④2台上/さまざまなクリエイターたちが集う 下/3階建てで内部は広い吹き抜けを持つ、装飾が施された手すりやステンドグラスも美しい



上野ビル3階

## Asa cafe

●あさかふえ

☎093-771-8700 MAP P5

**抜群のロケーションが自慢**

東京のカフェで経験を積んだ女性オーナーが営むカフェ。3階にあり、洞海湾を眺めながらくつろげる。コーヒー400円、ランチ800円～、15時からケーキセット700円が好評。

①11～19時(18時LO) ②木曜

店内では器や雑貨も販売している



ここも Check!



限定公開

徒歩で15分



製鉄の英知が集った  
中枢施設

### 門司赤煉瓦プレイス

●もじあかれんがぶれいす  
☎093-372-0962 (門司赤煉瓦倶楽部)  
MAP P12D1

大正2年(1913)に帝国麦酒(現サッポロビール)の工場として操業していた建物を利用した複合施設。製鉄の際、鉄鉱石から銑鉄を取り出した残り=銑滓から作った煉瓦を使った国内最古級の建物だ。  
①北九州市門司区大里本町31-11  
②JR門司駅から徒歩3分 ③入館100円(北九州市門司麦酒煉瓦館)  
④施設により異なる ⑤有料148台(1日500円)  
⑥北九州市門司麦酒煉瓦館(写真)は国の有形文化財に登録。人気のカフェなどもある



①ビール産業の歴史を学べる北九州市門司麦酒煉瓦館には、開業当時のブランド「サクラビール」なども展示



### 官営八幡製鐵所 旧本事務所

●かんえいやはたせいてつしょきゅうほんじむしょ  
☎093-541-4189  
(北九州市観光情報コーナー)  
MAP P7

官営八幡製鐵所の中核となったのが、この本事務所だ。長官や技監、ドイツ人技師などがここに集い、製鐵所建築に携わった。内部は非公開であるが、眺望スペースから見学できる。

#### 「眺望スペース」

①北九州市八幡東区大字尾倉 ②JRスペースワールド駅から徒歩5分 ③無料 ④9時30分~17時(入場は~16時30分) ※ガイドは10~14時 ⑤なし



わかりやすく解説します!

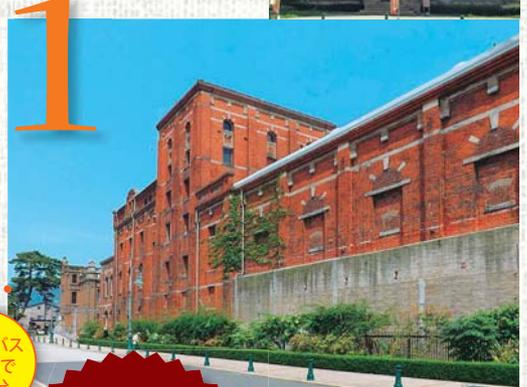
ボランティアガイドの井上三智子さん

#### 官営八幡製鐵所 バストゥアー

指定土曜、旧本事務所内などを見学できる唯一の公認ツアーがある。③2300円。所要約80分。要問合せ・予約。問合せ: ☎092-751-2102 (JTB コンベンションサポートセンター)



①眺望スペースには往時を伝える写真なども展示



①旧サッポロビール醸造棟

バスと徒歩で約50分



スケールの大きさを  
感じられる憩いの場

### 河内貯水池

●かわちちよすいち  
☎093-661-0039  
(八幡東区役所総務企画課) MAP P12C2

製鐵所の鉄鋼増産用の水を確保するために建設された人造湖。現在は北九州市の観光スポットとなっており、春は桜、秋は紅葉が美しい。「河内サイクリングセンター」には貸し自転車もある。

①北九州市八幡東区河内一帯 ②バス停上重田から徒歩20分(河内貯水池) ③貯水池周辺に5カ所あり

●経済産業省の「近代化産業遺産」に認定されている

●左/貯水池には5つの橋が架かり「河内五橋」とよばれる。うち「南河内橋」は国の重要文化財に指定されている 右/近くには温泉も



### 世界が目目の絶景

2015年、アメリカCNNによる『日本の最も美しい場所31』にも選定された藤園。6000㎡の敷地に20種類150株の藤が咲く。



#### 河内藤園

●かわちちよすいん  
☎093-652-0334  
MAP P12C2  
①北九州市八幡東区河内2-2 ②JR八幡駅から車で25分 ③入園500~1500円(開花状況により異なる。※開花時期は日時指定入場券が必要(コンビニにて販売) ④8~18時 ⑤4月中旬~5月中旬、11月中旬~12月中旬のみ開園 ⑥あり

#### 「河内サイクリングセンター」

☎093-651-9000 ①北九州市八幡東区大蔵2500-34 (MAP P12C2) ②2時間200円 ③10~16時(7・8月は9~17時) ④3~11月の土日曜、祝日営業(春休み・夏休み期間中は毎日営業) ⑤9台

#### 「あじさいの湯」

☎093-653-4126 ①北九州市八幡東区河内2-3-36 (MAP P12C2) ②JR八幡駅から無料送迎バスあり ③入浴840円 ④10~21時(受付は~20時)、土・日曜、祝日は~22時(受付は~21時) ⑤年4回不定休 ⑥280台

## 北九州産業遺産 ストーリー ②

北九州都市高速道路を走ると見えてくる「1901」の文字。東田第一高炉に書かれた「1901」の文字は、産業都市北九州市が発展するスタートラインとなった年。自国で製鉄し、重工業を發展させ、鉄道を敷き、船を造る。日本近代化への大きな一歩である。国家の一大プロジェクトが北九州でも始まったのだ。

# 製鉄物語

国家の維新をかけた壮大なプロジェクト



息をのむ美しい夜景は  
必見!

## 血倉山の夜景

●ざくらやまのやけい

☎093-671-4761 (血倉山ケーブルカー)  
MAP P7 (血倉山ケーブルカー山麓駅)

新日本三大夜景のひとつに数えられる血倉山の夜景。若戸大橋など洞海湾一帯から関門海峡まで、極上の夜景を楽しめる。血倉山ケーブルカー山麓駅から山上駅までケーブルカーで、山上駅でスローカーに乗り換え、山頂展望台まで行こう。

①パノラマ状に夜景が望める



①360度の眺望が広がるスローカー

②北九州市八幡東区大字尾倉1481 ☎JR八幡駅から車で約10分(土・日曜、祝日は血倉山ケーブルカー山麓駅まで無料シャトルバスあり) ③ケーブルカー・スローカー往復通し券1200円 ④10～18時(上り最終17時20分) ※土・日曜、祝日などは夜間も運行、要問合せ ⑤無休(点検整備日除く) ⑥130台(血倉山ケーブルカー山麓駅)



④鉄鉄を運んだ「トービードカー」



④人形を使って当時の様子を再現

## 東田第一高炉跡

●ひがしだいいいちこうろあと

☎093-582-2391 (北九州市文化企画課)  
MAP P7

歴史的な火入れが行われた日本初の鉄鋼一貫型高炉。展示されているのは昭和37年～47年まで使われた第10次改修高炉。内部では鉄鉄の工程が学べるほか、鉄鉄を運んだ「トービードカー」なども展示されている。春は桜も美しい。

②北九州市八幡東区東田2-3-12 ☎JRスペースワールド駅から徒歩5分 ③見学無料 ④9～17時 ⑤無休 ⑥有料300台(30分100円)

徒歩で1分

車で8分

## 北九州イノベーションギャラリー

●きたぎゅうしゅういのべーしょんぎゃらりー

☎093-663-5411 MAP P7

官営八幡製鐵所の工場跡地を利用した博物館ゾーンの一角にある。別名、北九州産業技術保存継承センター。北九州の産業技術の歴史と革新に関する資料の展示・体験施設。工務棟では木工や金属加工、3Dモデリングなども体験可。

②北九州市八幡東区東田2-2-11 ☎JRスペースワールド駅から徒歩5分 ③入館無料 ④9～19時(土・日曜、祝日は～17時) ⑤月曜(祝日の場合は翌日) ⑥有料300台(30分100円)

①ガラス張りのモダンな外観が印象的

博物館ゾーンの3つの展示施設はどれも見ごたえがあります



教えて市原先生!

①北九州の世界文化遺産を紹介するギャラリーもある

## 福岡県内にはこんな世界文化遺産も

### 三池炭鉱・三池港

日本の石炭発祥の地と伝わる三池も採炭で栄えた地。官営だった三池炭鉱は明治21年(1888)旧三井物産に払い下げられ民営化された。宮原坑、万田坑と三池港、三池炭鉱専用鉄道敷跡、三角西港も世界文化遺産に登録されている。



①貿易港として石炭を上海や香港などに輸出していた「三池港」

### 三池炭鉱 宮原坑

●みいけたんこうみやのはらこう

☎0944-41-2515 MAP P2

(大牟田市世界遺産登録・文化財室)  
①大牟田市宮原町1-86-3 ☎西鉄大牟田駅から車で約10分 ②10～17時 ③無休 ④50台

写真提供：大牟田市

## 隣にはこんな施設も

### 北九州市立いのちのたび博物館

●きたぎゅうしゅうしりのちのたびはくぶつかん

☎093-681-1011 MAP P7

迫力ある恐竜の標本がお出迎え

生命の進化や人と自然の歴史を楽しく学べる博物館。「自然史ゾーン」のほか、「歴史ゾーン」もあり、北九州市の歴史をわかりやすく学べる。正式名称は北九州市立自然史・歴史博物館。

②北九州市八幡東区東田2-4-1 ☎JRスペースワールド駅から徒歩5分 ③入館500円(特別展は別途料金) ④9～17時(入館は～16時30分) ⑤6月下旬に約1週間 ⑥有料300台(30分100円)



### 北九州市環境ミュージアム

●きたぎゅうしゅうしかんきょうみゅーじあむ

☎093-663-6751 MAP P7

エコライフを楽しく学べる

北九州市の公害克服の歴史や、環境への取り組みをわかりやすく紹介。ゲーム感覚で学べるゾーンもあり、子どもでも楽しめる。

②北九州市八幡東区東田2-2-6 ☎JRスペースワールド駅から徒歩5分 ③入館無料 ④9～17時(入館は～16時30分) ⑤月曜(祝日の場合は翌日) ⑥有料30分100円



## 千草ホテル

●ちくさほてる

☎093-671-1131 MAP P7

創業100余年を誇る老舗

官営八幡製鐵所が誕生してから間もなく、大正3年(1914)に料亭として開業、その後ホテルとなった。洗練された空間、料理、サービスに定評があり、女性たちから支持されている。

②北九州市八幡東区西本町1-1-1 ☎JR八幡駅から徒歩10分 ③店舗により異なる ④100台上/アートに造詣が深いホテルとしても知られる下/「フランス料理ミル・エルブ」。ランチ2500円～(税・サ別)



## Dining Bar Café de Brique

●だいにんぐばーかふえとぶりっく

☎093-371-2600 MAP P12D1

シックな赤煉瓦空間でくつろごう

門司赤煉瓦プレス内「旧サッポロビール醸造棟」の一角にあるダイニングバー。80種類のフードと300種類のドリンクが揃う。コースは2000円からとリーズナブル。

②ランチ11時30分～14時、ディナー18時～22時30分、バー22時30分～午前2時 ③無休 ④有料148円

夏はオープンテラスでBBQもできる(要予約)



北九州  
産業遺産

ストーリー 3

# 海運物語

関門は人、モノ、情報が行き交う港町として発展

国際貿易港となった門司港の開港や官営八幡製鐵所の操業以降、北九州は工業都市として発展し、港町は大いに賑わった。出光興産を築いた出光佐三が起業し、「出光商会」を創業したのも門司港だ。門司港レトロ地区などにはその時代の面影が数多く残り、往時の活気を今に伝えている。



①おいしいものを探したり、食べたりしながら市場で働く人たちと交流しよう

## 2 唐戸市場

●からといちは



①こんな海鮮丼も食べられるかも！

☎083-231-0001 (MAP P12D1)

海外貿易が盛んになり、人が増えた唐戸には大正期に魚市場が発足。卸売市場は一般の人にも開放されており、新鮮な魚を購入できるほか、毎週末と祝日に飲食イベント「活いき馬関街」も開催されている。

①山口県下関市唐戸町5-50 JR下関駅から車で10分 ②5~15時(日曜、祝日は8時~、店舗により異なる) ③水曜不定休 ④572台

## 3 出光美術館

●いでみつびじゅつかん

☎093-332-0251 (MAP P9)

石炭全盛期、先見の明をもって25歳で門司港に石油販売会社「出光商会」を起業し、一代で「出光興産」を築きあげた出光佐三氏。芸術にも造詣が深かった氏のコレクションを中心に展示する美術館。特に日本・東洋の古美術が充実。

①北九州市門司区東港町2-3 JR門司港駅から徒歩6分 ②入館700円 ③10~17時(入館は~16時30分) ④月曜(祝日の場合は開館) ⑤門司港レトロ駐車場利用(1時間200円) ※住所・料金はリニューアル後のもの



国際貿易の拠点、  
関門を今に伝える

## 1 旧下関英国領事館

●きゅうしものせきえいこくりょうじかん

☎083-235-1906 (MAP P12D1)

明治後期、外交・経済・交通の拠点として発展著しい下関に置かれた英国領事館。当時の外交関連施設として貴重で、国の重要文化財の指定を受けている。2階のレストランでは英国の味を提供している。

①山口県下関市唐戸町4-11 JR山陽本線下関駅から車で5分 ②入館無料 ③9~17時(2階は~22時、レストラン「英国館」は10~22時) ④火曜ほか臨時休館あり ⑤なし

徒歩で5分

「世界の出光」が  
収集したコレクション



①2016年10月末にリニューアルオープン予定。4月8日~6月26日までは、旧大阪商船2階で企画展を開催(入館600円)。新館開館後は出光氏の軌跡を紹介する「出光史料館」も再オープン

②作品の展示は随時変更あり。板谷波山作「葆光彩磁瑞花鳳凰文様花瓶」(出光美術館蔵) ※新館リニューアル記念「日本のやきもの展」に出品予定

徒歩と連絡船で約15分

徒歩で4分

徒歩で6分



## 5 旧大阪商船

●きゅうおおさかしょうせん

☎093-321-4151 (MAP P9)

大阪商船の門司支店として大正6年(1917)建設。当時、北側に海に面し、専用棧橋から直接乗船可能だった。ドイツの建築様式を取り入れたオレンジ色のタイルと白い石の帯が調和し、当時は“港の美貌”とよばれた。

①北九州市門司区港町7-18 JR門司港駅から徒歩2分 ②わたせせいぞうギャラリー入館100円 ③9~17時 ④無休 ⑤門司港レトロ駐車場利用(1時間200円)

「港の美貌」  
気品高き

徒歩で7分

①八角形の塔屋が特徴的。当時は灯台の役割も担っていた

## 4 旧門司税関

●きゅうもじざいかん

☎093-321-4151 (MAP P9)

門司港が石炭、米、麦、小麦粉、硫黄の特別輸出港に指定されたことに伴い、長崎税関の出張所として、明治42年(1909)当時7番目の税関として発足。現在の建物は過去の写真をもとに4年の歳月をかけて一部復元・修復整備されたもの。

①北九州市門司区東港1-24 JR門司港駅から徒歩5分 ②入館無料 ③9~17時 ④無休 ⑤門司港レトロ駐車場利用(1時間200円)



物流の拠点、  
門司港の象徴

①特注の赤煉瓦と御影石を使用したモダンな造り

②内部も赤煉瓦造りで吹き抜けになった開放的な空間が広がる

②階は北九州出身のイラストレーター、わたせせいぞうの作品を展示している

車で1時間

途中ココも見える!

ひびきコンテナターミナル

●ひびきこんでなな一みなる  
☎093-321-5941  
(北九州市港湾空港物流振興課)  
MAP P12C1  
移動中、海側に見えてくるのがココ。大型コンテナ船が入港でき、アジアをはじめ、日本と世界を結ぶ物流の拠点となっている。  
③北九州市若松区響町3 JR 二島駅から車で約10分



宗像大社

●むなかたたいしゃ  
☎0940-62-1311 MAP P12A2  
宗像市出身の出光佐三氏が厚く信仰し、昭和の御造営にも大きく尽力。沖津宮・中津宮・辺津宮の三つの宮からなり、辺津宮が参拝の中心。境内の神宝館では8万点にも及ぶ国宝を収蔵・展示している。本殿と拝殿は国の重要文化財に指定されている。  
③宗像市田島2331 JR 東郷駅から車で10分  
④神宝館500円 ⑤参拝自由、神宝館は9時～16時30分(受付は～16時)

世界遺産登録への期待が高まる



①昔から交通安全の神として信仰を集めてきた



国宝が多く発見されたのも出光氏のおかげによるところが大きいのです

教えて市原先生!



8 白島展示館

●しらしまでんじかん  
☎093-752-1460 MAP P12C1  
石油が入った船を8隻浮かべた世界でも珍しい洋上備蓄基地、白島石油備蓄基地近くにあり、石油や備蓄基地のことが学べる展示館。展望室からは響灘はもちろん、360度の景色が楽しめる、昼食がとれるテーブルもある。  
③北九州市若松区響灘1-108 JR 若松駅から車で10分 ④入館無料 ⑤10～16時(入館は～15時30分) ⑥月曜、第4火曜(月曜が祝日の場合は開館) ⑦40台

神秘的島を映像で体験

海の道むなかた館  
●うみのみちむなかたかん  
☎0940-62-2600 MAP P12A2  
海を舞台に悠久の歴史を刻んできた宗像。館内では宗像で出土した文化財を展示するほか、シアターでは沖ノ島を3D映像でリアルに体験できる。  
③宗像市深田588 JR 東郷駅または JR 赤間駅から車で約20分  
④入館無料 ⑤9～18時 ⑥月曜(祝日の場合は翌平日) ⑦112台



7 関門汽船クルーズ

●かんもんきせんくろーず  
☎093-331-0222 (予約受付 9～17時)  
MAP P9  
北九州の美しい工場夜景を海から眺められる「夜景観賞定期クルーズ」が人気。ほかに「門司港レトロクルーズ」や「関門海峡クルーズ」がある。  
③北九州市門司区西海岸1-4-1 門司港棧橋(マリンゲートもじ) ④JR 門司港駅から徒歩3分  
⑤夜景観賞定期クルーズ2500円(※1週間前までに要予約) ⑥要問合せ※所要時間110分 ⑦なし



船から工場夜景を見学



①案内を聞きながらクルーズを楽しもう

6 旧大連航路上屋

●きゅうだいにんこうろうわや  
☎093-322-5020 MAP P9  
昭和初期、門司港と大連を結ぶ航路があり、その国際旅客ターミナルとして建てられた。当時の姿を復元したオール・デコ調のデザインが美しく、モダンな印象が漂う。館内には映画関係の資料展示室「松永文庫」などがある。  
③北九州市門司区西海岸1-3-5 JR 門司港駅から徒歩5分 ④入館無料 ⑤9～17時 ⑥不定休 ⑦なし



人々が新天地・満州へと旅立った場所

①国会議事堂を手がけた官庁建築家大熊喜邦が設計

CAFÉ DINING BEAR FRUITS

●かふえだいにんぐべあふるーつ  
☎093-321-3729 MAP P9  
門司港のソウルフード、焼きカレー  
門司港では約30店舗で趣向を凝らした焼きカレーが味わえる。中でも週末になると開店前から行列ができるほどの有名店がココ。17種類以上のスパイスと野菜等を2日間かけて煮込んだカレーに卵とチーズをのせて焼き上げたスーパー焼きカレーが大人気!  
③北九州市門司区西海岸1-4-7 門司港センタービル1階 ④JR 門司港駅から徒歩1分 ⑤11時～22時30分 LO ⑥無休 ⑦なし



②ビーフ入りスーパー焼きカレー(数量限定) 1050円

三宜楼茶寮

●さんきろうさきりょう  
☎093-321-2651 MAP P9  
市民の手で復活した幻の料亭  
木造三階建ての巨大な料亭で、出光佐三、高浜虚子など著名人にも愛された。昭和30年頃廃業したが、その後地元の有志たちの手で募金や署名が行われ、2014年に生まれ変わった。  
③北九州市門司区清藤3-6-8 JR 門司港駅から徒歩8分 ④11時30分～14時 LO、17時30分～21時 LO(日曜、祝日は～20時 LO) ⑤月曜(祝日の場合は翌日) ⑥近隣に提携割引駐車場あり



①ふく御膳3240円。ふく料理で知られる下関の料亭「春帆楼」が手がける。夜は5400円～(要予約)  
④歴史を物語る設えが今も残る

北九州市観光協会直営売店 よりみち

●きたきゅうしゅうし かんこうきょうかい ちよくえいばいてんよりみち  
☎093-321-6167 MAP P9  
世界遺産関連のみやげも!  
門司港名物はもちろん、北九州の名産品を幅広く集めた売店。伝統工芸品や世界遺産関連のみやげや観光情報も豊富に揃っている。  
③北九州市門司区東港町6-72 港ハウス1階 ④JR 門司港駅から徒歩5分 ⑤10～18時 ⑥不定休 ⑦門司港レトロ駐車場利用(60分200円 ※利用金額に応じて割引あり)



②門司港レトロ駐車場からすぐの場所にある

門司港レトロ 海峡プラザ

●もじこうれとろ かいきょうぶらざ  
☎093-332-3121 MAP P9  
門司港の名物が勢揃い!  
地元の海産物、銘菓、食事処やカフェまで揃った複合レジャー施設。オルゴールミュージアムや赤煉瓦ガラス館などもあり見応えたっぷり!  
③北九州市門司区港町5-1 JR 門司港駅から徒歩3分 ④10～20時(飲食店は11～22時) ⑤無休(臨時休館日あり) ⑥29台(利用金額に応じて割引あり)



②潮風が心地よい憩いのスポットだ



9 ※目的地までの移動時間は、乗り換えや待ち時間を含みません



①パッケージの「健康はアゴから」の文字通り、あごが鍛えられる食感。オープン価格



②疲れを癒やし、回復させるため甘味は強め。オープン価格

### 食物語 2

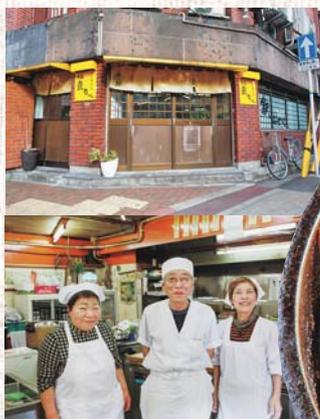
その堅さ、鉄並み！  
八幡製鉄所が  
手がけた栄養補助食

## くろがね堅パン・ くろがね羊かん

●くろがねかたぱん・くろがねようかん

鉄を意味する「くろがね」が商品名につくことからわかるように、両者とも官営八幡製鉄所で従業員の栄養補助のために作られたもの。大量に作って長く保存できるように水分を極力少なくした「堅パン」は、まさに鉄のような硬さ！羊かんは長さ13cmとコンパクト。作用着の胸ポケットに入れやすく、作業の合間に食べていた製鉄マンもいたとか。伝統の味にトライしてみよう！

販売場所：スピナート各店ほか  
問合せ：☎093-681-7350  
(スピナ・商業レジャー部堅パン課)



①宇久知紀さん(中央)とスタッフのみなさん



### 食物語 1

文豪たちも愛した  
文明開化の味

## 料亭 金鋼

●りょうてい きんなべ

☎093-761-4531 MAP P5

明治12年(1879)、九州初の牛鍋屋として小倉に創業し、明治28年(1895)、石炭の積出港として賑わっていた若松に移転。当時の空気感を今に伝える貴重な料亭として、国の有形文化財に登録されている。100余年受け継がれた名物の牛鍋は厚切りにした牛肉を八丁味噌で炊きあげたもの。芥川賞作家・火野葦平もこの味をこよなく愛し、館内には氏がよく利用していた部屋が「葦平の間」として残っている。見事な設えは必見だ。お昼の懐石4104円。

③北九州市若松区本町2-4-22 ④JR若松駅から徒歩3分 ⑤12~15時、17~22時 ⑥不定休 ⑦なし



①2代目店主が焼夷弾から命がけで守ったという建物 ②牛鍋コース7560円(先付・前菜・造り・食事・デザート付き、サ別) ③若松の新鮮な魚介を使った魚すき(コース7560円)もある ④網代天井が美しい「葦平の間」。火野葦平の愛用品も展示されている

## 北九州 産業遺産 ストーリー

## 番外編

# 食 物語

歴史とともに歩み、発展した食文化

文明開化とともに、近代化を牽引してきた北九州市。産業が興り、人が集うと、そこには独自の食文化が生まれた。今も変わらず人々に愛され続ける北九州の美味。歴史に思いを馳せながら味わうのも一興だ。



①焼き餃子 10個 540円。野菜の甘味が口の中に広がる。製鉄所の従事者が好んで食べたこともあり、八幡には餃子の店が多く、「八幡ぎょうざ」とよばれる

### 食物語 3

発祥は博多にあらず。  
鉄なべ餃子の物語は  
ここから

## 本店 鉄なべ

●ほんてんてつなべ

☎093-641-7288 MAP P12C2

昭和33年(1958)に折尾で創業。創業者は現店主・宇久知紀さんの母親だ。もともと料理好きだったことから、日本人の口に合うあっさりとした餃子を追求して生まれたのが鉄なべ餃子。当時、銀座でスバゲティ・ナポリタンを鉄の皿で出す店があったことにヒントを得て、京都に鋳物の鍋を発売。そのおいしさは口コミで広がり、大人気となった。

③北九州市八幡西区黒崎1-9-13 ④JR黒崎駅から徒歩3分 ⑤11時~21時30分 ⑥木曜 ⑦なし



世界遺産の街らしい  
みやげはいかが？

ネジチョコ

2015年7月に官営八幡製鐵所の4施設が世界文化遺産に登録されたことを記念して誕生した。鉄をイメージした形で実際にボルトとナットを締められる！864円。



販売場所：  
グランドジュール各店 (MAP P12D2、12C2 (http://www.grandazur.jp/))、  
北九州市観光協会直営売店よりみち  
☎093-321-6167 (MAP P9) など

コレも  
Check!

食物語 6

長年受け継がれてきた  
ビール文化を今に伝える  
門司港地ビール工房

●もじこうじびーるこうぼう

船乗りたちに「門司の水は赤道を越えても腐らない」と言わしめたほど、水によさで知られた門司。門司にはビール工場やウイスキー工場などが造られ、全国に洋酒文化を広めた。その伝統を受け継ぐ地ビール工房では、加熱殺菌やろ過を行わず、ビール本来の味わいを大切にしたい地ビールを味わえる。

☉北九州市門司区東港町6-9 ☉JR門司港駅から徒歩5分 ☉11時～21時15分 LO ☉1～4月の第2・4月曜 (祝日の場合は営業) ☉なし



☉門司港地ビール3本セット1728円



☉建物も一見の価値ありだ

魚住酒店

●うおずみさけてん

☎093-332-1122 (MAP P9)

細い坂道の途中にあり、昭和20年(1945)からこの地で店を構える。お母さんが作る小鉢一品はなんと無料！あくまで「魚住家のごはんのおすそわけ」的なものなので、ない時もあるのでご了承を。

☉北九州市門司区清滝4-2-35 ☉JR鹿兒島本線門司港駅から徒歩7分 ☉9～21時 ☉不定休 ☉なし

オススメは  
ココ

オススメは  
ココ

藤高酒店

●ふじたかさけてん

☎093-871-4159 (MAP P5)

3代目のご夫婦が切り盛りする歴史ある店。名物は女将さんの手料理で、一品200円～が常時3～4種類並ぶ。生ビール370円～、日本酒、焼酎1杯280円～。

☉北九州市戸畑区元宮町4-15 ☉JR戸畑駅から徒歩8分 ☉角打ち15～20時 ☉日曜、祝日 ☉なし



☉コの字型のカウンターが印象的  
☉刺身や魚の煮付けなど料理の種類も豊富



☉店主の高橋匠一さんと母、優文子さん  
☉長い歴史を感じさせてくれる



☉ジャズが流れる店内でくつろいで

食物語 5

ジャズ発祥の地・若松の  
知る人ぞ知る名店

エル・エヴァンス

●える・えうあんす

☎093-751-9508 (MAP P5)

石炭を中国へ運ぶ船が就航していた若松港。当時、欧米文化が花開いていた中国から、ジャズ文化も入ってきており、大正6年(1917)には九州初のジャズバンド「若松パルサロンオーケストラ」が誕生。九州にジャズの文化を広めた。オーナーは「若松で音楽を聴く会」を主催。毎週土曜20時から、1人1オーダーで生のジャズライブを見ることが出来る(別途料金の場合あり)。ランチも好評だ。

☉北九州市若松区本町2-9-20 ☉JR若松駅から徒歩8分 ☉12～21時(ランチは～15時) ☉不定休 ☉なし

食物語 8

今も昔も変わらない。  
角打ちで一杯！で  
1日を締めくくろう

昔、工場の夜勤で働く人が仕事帰りに朝寄っていた、港で働く人が疲れを癒やすために気軽に立ち寄れる場所を作った…など諸説あれど、酒屋の店先で酒を飲む「角打ち」文化が北九州に根付いているのは間違いない。酒屋なので、酒の値段は販売価格そのまま。日本酒のイメージがあるが、ビールでもジュースでも、店で売られているものはすべて飲める。

オススメは  
ココ

高橋酒店

●たかはしさてん

☎093-602-1818 (MAP P12B2)

創業大正7年(1918)の老舗。床に目をやると、長い年月で煉瓦が削られているのがわかる。夜は串焼きなどを七輪で焼き直してくれるサービス(冬のみ)も。

☉北九州市八幡西区堀川1町2-10 ☉JR折尾駅から徒歩5分 ☉9時30分～20時45分、日曜は～18時45分、祝日は～19時45分 ☉無休 ☉なし



☉「ジャズの帝王」  
マイルス・デイヴィス  
の写真が目をはく

食物語 4

門司港で今も聞こえる  
「バナちゃん節」

明治後期以降、台湾から大量に輸入されるようになったバナナは当時、高級フルーツの代名詞。台湾に最も地理的に近かった国際貿易港、門司港に船が来た時点で黄色になってしまったバナナをできるだけ早く換金する手段として始まったのがバナナの叩き売りだ。独特の口上「バナちゃん節」によって販売され、門司港の名物となった。

問合せ先：☎093-331-1881 (門司区役所総務企画課)



☉週末(不定期)や10月に開催されるイベント「バナちゃん大会」などで披露される

食物語 7

忙しい労働者たちが  
好んで食べた伝統の味  
戸畑チャンポン

寛太郎

●かんたろう

☎093-881-5483 (MAP P5)

コシの強い蒸した細麺が特徴の戸畑チャンポン。日持ちの良さと茹で上げの早さで、官営八幡製鐵所で働いていた忙しい労働者たちに好まれてきた。寛太郎の自慢のスープは、豚の頭骨を13時間かけて丁寧に炊いて仕上げたもの。臭みのない濃厚なスープに細麺が絡んで美味。特製の辛味噌を加えても◎。

☉北九州市戸畑区浅生3-14-21 ☉JR戸畑駅から徒歩8分 ☉11～16時、土・日曜は～18時 ☉火曜(祝日の場合は営業、翌日休み) ☉6時



☉豚の角煮やイカゲソの天ぷらも入るのが寛太郎流



発行/北九州産業観光センター  
 (北九州市・北九州商工会議所・北九州市観光協会)  
 企画・編集・制作/株式会社JTBパブリッシング  
 ©2016 北九州市/JTB Publishing, Inc. All Rights Reserved.

※本誌掲載のデータは2016年2月末のもので、発行後にデータが変更になる場合がありますので、お出かけの際には電話等で事前に確認されることをおすすめいたします。なお、本誌掲載内容による損害等は、補償いたしかねますので、あらかじめご了承くださいませようお願いいたします。  
 ※本誌掲載の入館料などは大人料金を掲載しています。※原則として消費税込みの料金で掲載しています。※定休日は原則として年末年始・お盆休み・ゴールデンウィークを省略しています。※利用時間は特記以外原則として開店(館)～閉店(館)です。オーダーストップや入店(館)時間は通常閉店(館)の30分～1時間前ですのでご注意ください。※交通情報については、天災の影響や季節などにより変動する場合がありますので、お出かけの際には各交通機関にお問合せください。

本誌に掲載した地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の数値地図(国土基本情報20万)を使用しています(承認番号平27情使、第1021号)

表紙写真:明治33年(1900)、建設中の官営八幡製鐵所・東田第一高炉を前に並ぶ要人。製鐵所建設が国の一大プロジェクトだったことを物語る1枚

## ココもチェック!

### TOTOミュージアム

☎093-951-2534 (MAP)P12C2

📍北九州市小倉北区中島2-1-1

約100年にわたるTOTOの歴史や、日本の水回り文化の歴史を学べる施設(ミュージアム)。

### 旧松本家住宅(現:西日本工業倶楽部)

☎093-871-1031 (MAP)P12C3

📍北九州市戸畑区一枝1-4-33

安川敬一郎の子・松本健次郎が住宅と学校の迎賓館を兼ねて建設。春と秋、各1日一般公開されている。

### 九州工業大学の産業遺産

☎093-884-3000 (MAP)P12C1

📍北九州市戸畑区仙水町1-1

安川敬一郎・松本健次郎親子らが明治42年(1909)私立明治専門学校として開校。正門や守衛所、実験用機械などが、経済産業省の「近代化産業遺産」に認定されている。

### 勝屋酒造

☎0940-32-3010 (MAP)P12B2

📍宗像市赤間4-1-10

寛政2年(1790)創業。代々、宗像大社に納めてきた御神酒「檜の露」は出光佐三氏が愛飲していたことでも知られる。

## 北九州への主なアクセス

